

すみだ新製品開発プロジェクト実行委員会

平成 21 年度定時総会議事要旨

1 開会日時

平成 21 年 5 月 22 日(金) 午後 6 時 30 分～7 時 30 分

2 開会場所

すみだ中小企業センター 5 階 会議室 2・3

3 参加者

参加者名簿のとおり



4 開会

1) 副会長あいさつ(鈴木 良昇 副会長)

昨年 11 月から景気は下り坂で一向に良くなる兆しが見えない。区からの支援を受けられそうだが、支援を受けなくても会社を続けていけるようにしたい。この厳しい環境下を乗り切るためには、このような乗り切るための準備をしっかりとしなくてはいけないと感じている。

最近読んだ本に「散歩のついでに富士山に登る人はいない。散歩も登山も歩く行為は同じだ。しかし富士山に登るときは、しっかり準備して登る」とあった。仕事も同じで、明るい明日へ向かうためには、しっかり準備して仕事に臨まなくてはいけないと思う。

本日は、今年度の方針を決めるための大切な会議だ。タワー開業に向け、しっかり準備するためにも、皆様のご協力をお願いしたい。

2) 墨田区産業観光部長あいさつ(藤田彰 産業観光部長)

日ごろ、区の産業振興施策にご協力いただきましてありがとうございます。

早稲田大学との産学官連携事業は、人材育成、まちづくり、文化振興と包括的な分野で多大な成果をあげているが、産業振興はその中核を成すものであり、モビリティ開発プロジェクトはその中でもさらに中核的な事業だ。その中核事業にご協力いただけることに深く感謝をしている。

昨年は区内企業の力を結集し、走行できる試作車を製作することができた。次のステップに進む今年度は、タワー開業まで 3 年弱であることを考えると、重要な時期にあると認識している。行政も可能な限りプロジェクトの発展に向けて協力していく。

3) 事務局職員紹介

すみだ中小企業センター館長より、事務局職員を紹介した。

5 議事

1) 「平成20年度事業報告」及び「収支決算」について

資料に沿って事務局より報告した。

事業報告については、試作車「HOKUSA」製作までの活動について報告したほか、平成20年度第7回実行委員会において、「短期間で良いものを製作でき評価できる」「次に続くモビリティを製作していきたい」「今後プロジェクトとして継続していくためには、予算措置が必要」等、出席者全員がモビリティ製作に前向きな意見であったことを報告した。

収支決算については、監事である東京東信用金庫 石毛氏より監査報告が行われ、いずれも承認された。

2) 役員の改選について

事務局から次のとおり提案し、承認された。

会 長	(株)墨田電材社	鈴木良昇 氏
副会長	五十畑工業(株)	五十畑雅章 氏
〃	(株)浜野製作所	浜野慶一 氏
監 事	東京東信用金庫	石毛弘之 氏

3-1) すみだ次世代モビリティ開発コンソーシアム第1回幹事会 (平成21年5月14日開催)の報告について

(株)早稲田環境研究所(すみだ次世代モビリティ開発コンソーシアム事務局)から資料に沿って提案及び報告が行われた。



3-1-1) 提案事項(主にすみだ新製品開発プロジェクト実行委員会が検討していく事項)

・モビリティ製作について

今年度製作するモビリティとして、「HOKUSA」製作で培ったノウハウを活かして、早稲田大学が開発したULV(超軽量小型自動車)をベースに1台、五十畑工業(株)が開発したひずみセンサーを搭載した電動車いすをベースに1台製作することについて提案があった。

・技術開発調達(テクノロジープロキュアメント)について

製作したモビリティを区や会員企業が業務内で使用していく技術開発調達(テクノロジープロキュアメント)の実施検討について提案があった。

・バッテリー交換事業について

バッテリー再生技術を持つ会員企業の昭電の協力を得ながら、検討実施に向けた提案があった。なお、この事業は米国カリフォルニア州で電気自動車のバッテリー交換事業を行っており、国内でも横浜市で試験的に運用されているとのこと。

- ・ **ブランディング グッズ販売事業**

モビリティに関連した様々なブランドグッズ製作・販売事業の展開について提案があった。なお、早稲田大学学生の関係者でタオル業を営んでいる事業者に、ULV のロゴをあしらったタオルハンカチ作成を依頼したとのこと。実物が披露された。

3-1-2) 報告事項 (主に早稲田環境研究所が検討していく事項)

- ・ **CTS**

日産自動車と早稲田環境研究所が共同して研究している交通システムであり、将来的には事業への活用の可能性がある、との報告があった。

- ・ **広告事業**

平成 20 年度に ULV への広告掲載収入があった。今年は ULV に加え「HOKUSAI」への広告掲載事業を展開し収入源とする計画である、との報告があった。

- ・ **観光サポートモデル事業**

国土交通省補助事業に申請を行った。内容はモビリティに小型端末を搭載し、移動した各所で観光案内を行うシステム開発を提案するものである、との報告があった。⇒5月29日付で採択された。

- ・ **ULV 実証実験の報告**

平成 20 年 11 月～12 月にかけて、すみだ中小企業センターと墨田区庁舎間を ULV で往復、走行時のデータの採集、分析結果について報告があった。

- ・ **今年度の ULV の研究**

従来型 ULV の課題を解決し、墨田区内での定着化を図るための研究開発について報告があった。

3-2) 電動車いす (製作:五十畑工業株) について

映像を交えながら製作者である五十畑氏が解説した。操作は車いすの腕おきにあるレバーに負荷を加えることで、モーターが作動し、前進・後進・左右旋回が行える。また、その場で回転することも可能。ブレーキはレバーにかけられた力を抜くことで自動的にかかる。速度は約 6km/h。



4) 平成 21 年度事業計画案及び収支予算案について

資料に沿って事務局から提案した。

事業計画については、公道走行が可能なモビリティの製作、ビジネスモデルの検討、及び運用モデルを検討することを提案した。

収支予算案については、モビリティ製作を重点とした予算案を提案し、いずれも承認された。

5) エコライフ・フェア 2009 (6月6日(土)、7日(日)開催) について

環境省主催のイベント「エコライフ・フェア 2009」に試作車「HOKUSAI」とULVが出展されることを告知した。また実行委員会メンバーで見学会を行うことを伝えた。